

鴨川市地域公共交通会議 令和6年度第1回会議

会 議 録

日時：令和6年5月29日（水）
午後2時から3時37分まで
場所：鴨川市役所 4階 大会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏 名	備 考
会長 (今回選任)	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長 (今回選任)	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	竹内 久泰	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	鶴谷 武志	
	鴨川市校長会 会長	関口 和則	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	
	利用者代表	三橋 悦子	
	利用者代表	篠田 千津子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏 名	備 考
	日東交通労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	高橋 克博	
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	高山 裕明	

2 オブザーバー

役職等	所属・職	氏 名	備 考
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整室	鎌田 凌生	

3 事務局

所属・職	氏 名	備 考
鴨川市企画総務部 部長	野村 敏弘	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係 係長	森 和之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

[配布資料]

- ・席次表、出席者名簿、委員名簿
- ・資料 1 鴨川市コミュニティバス 令和 5 年度運行実績について
- ・資料 2 公共交通乗り方教室 実施結果
- ・資料 3 地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)に係る地域公共交通計画 別紙 (案) について
- ・資料 4 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)に係る地域公共交通計画 別紙 (案) について
- ・参考資料 1 鴨川市公共交通マップ
- ・参考資料 2 『チョイソコかもがわ』利用実績 (令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月)
- ・参考資料 3 令和 6 年度 会議開催スケジュール等 (案)

■議事要旨

1 開会 (午後 2 時) 司会 企画総務部企画政策課 滝口課長

- ・配布資料の確認
- ・委嘱状交付
- ・会議の成立、公開の報告
- ・会長、副会長選任・・・会長に平川委員、副会長に羽田委員が就任

2 会長あいさつ

(要旨)

ご多用の中、出席いただき感謝する。

本日の会議では、報告 2 件に加え、地域間幹線系統及び地域内フィーダー系統に係る地域公共交通計画の協議 2 件のご協議をお願いする。

詳しくは、事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げ、会議の冒頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、石井孝典 委員を指名

報告案件 1 鴨川市コミュニティバス 令和 5 年度運行実績について
(事務局から、資料 1 に即して説明)

成田委員：3 点質問する。

1 点目はコミュニティバスのエンジンの載替修繕を行ったとの説明があったが、バスは何年式の車両か。また、運行の継続という面で、どのような対応をしたのかを補足して伺いたい。

2 点目は、有料広告について。市内外にどのような方法で募集情報を周知していたのか。

3 点目は、今年度から新たな運行ルートになるが、これまでの運行については、地域公共交通計画における目標に対して、どの程度の成果があったと評価しているか。

事務局：1 点目について、コミュニティバス北ルート・南ルートの車両は、平成 21 年度に購入した市所有のバスで、これを日東交通(株)に貸与し運行していた。法定点検等の際には、予備車両を使用していた。

エンジンの故障は重大で、3 月末までの期間を代車で運行させようとする、期間が長く、運行事業者の事業に影響を与えてしまう恐れもあったことから、協議の上、エンジンの載替えを行うこととし、修理期間中は予備車両で運行することとした。

2 点目の有料広告の周知については、市ホームページや市広報紙に掲載することなどにより行い、その情報を見た事業者から申込みがあったもの。

3 点目の「鴨川市地域公共交通計画」における目標に対する評価については、令和 5 年の目標値 22,035 人に対して、実績値 24,797 人であったことから、目標値を達成できたと評価している。

成田委員：平成 21 年式の車両ということだが、バスは多数の人を輸送する乗り物なので、行っていたと思うが、定期的な点検やエンジンのオーバーホールのほか、計画的な大規模点検など、専門的なアドバイスを受けながら計画的に実施していただきたい。

広告収入については、応募された 2 社がどんな情報を見て応募されたのかなどを把握できれば、次の広告収入に繋がると思っている質問だった。

最後に、目標値を達成したということと、「循環線」という新たなチャレンジに活かしていただきたい。

事務局：補足する。北ルート・南ルートで使用していた平成 21 年式のポンチョは、老朽化が進み、継続的に使用するのが難しくなっていた。そこへ大きな故障があり、多額な修繕費がかかった。

「循環線」は、清澄ルートで使用していたハイエースを使うことにしており、コミュニティバスとして使用していたポンチョは、「循環線」の予備車という位置付けとなり、今後、継続的に使用する予定は基本的にはないということで理解いただきたい。

報告案件 2 公共交通乗り方教室についてについて
(事務局から、資料 2 に即して説明)

成田委員：生徒や保護者から大変良かったという感想があったようで、また今年度も計画するという事はいいことだと思う。開催にあたって人数に余裕があ

るようにも見えるが、別の学校でも開催、あるいは、他校と一緒に開催するということとはできないのか。

事務局：市内の路線バス沿線の小学校を対象に実施している。ほかにも長狭学園、西条小学校、東条小学校などでの開催実績がある。

実施方法は、授業の一環として学校単位で実施をしており、学校によっては人数が少ない場合もある。他校と合同で行うことはしていない。

実施方法や回数などについて検討していきたい。

成田委員：対象校を毎年1校ごとに順番で実施していると、乗り方教室に参加する機会がない子どもたちも出てくる。公共交通に乗って会場まで移動することも勉強のひとつになる。難しい点も多々あると思うが、非常に好評なアンケート結果もあるので検討してほしい。

協議案件1 令和7年度地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統）に係る地域公共交通計画について

（事務局から、資料3に即して説明）

成田委員：2点質問する。

1点目は、7ページ16番の「協議会の構成員」について、千葉県総合企画部交通計画課の記載位置がここ（「鴨川市地域公共交通会議を主宰する団体」を記載する欄）で良いのか。

2点目は、ここにある4路線（木更津鴨川線、館山鴨川線、鴨川市内線2系統）は、それぞれ国と県の補助基準上、ある程度余裕があると見ているか、それとも、ギリギリな状態とみているか。

事務局：1点目の千葉県の記載位置を確認し、修正が必要であれば修正をさせていただきたい。そのことも含めて承認をお願いしたい。

2点目の路線の状況については、「館山鴨川線」の輸送量が補助要件に迫ってきていることから、注視していかなければならないと思っている。他の路線についても、利用状況等を注意深く見ていきたいと考えている。

資料のとおり承認（計画別紙「16. 協議会の構成員」の修正のほか、申請段階における軽微な修正については、会長及び事務局に一任）

協議案件2 令和7年度地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通計画について

（事務局から、資料4に即して説明）

高橋(直)委員：2ページ最下部に「記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること」とあるが、計画本体の該当部分は申請書提出時に添付するのか。

事務局：計画本体の該当部分は、添付させていただく。

三橋委員：せっかく出席したので、発言したい。

普段、バスを利用しているが空席が多い。赤字経営なのも分かっていたが、市からどのくらいの補助があるのかまでは知らなかった。今回の会議で、初めて国からも補助金が出ていること知った。とても意義のあるものになった。

篠田委員：今回参加するにあたって、事前に資料に目を通してきたが、いろいろな数値をもとに細かな計算をされていて、大変なことをされているなど感じた。また、日頃、路線バスやコミュニティバス、チョイソコを半額や割引運賃で利用していて、とてもありがたいことだと思っている。

路線バスは、普段、利用人数は少なく、金谷線も廃止され、平塚では長狭線が増えたが、本数は少ない状況。しかし、今日の報告で、とにかく莫大なお金がかかっていると知った。

私も夫も車を手放し、移動の際には友人らに助けられている。高齢者が増えてくる中で、公共交通に税金が使われ、守られ、お世話になっていることに感謝している。

平川会長：利用者は少ないが、地域の足として守っていかなければならない。そういった観点からの意見・提言などを今後も伺えればと思う。

本協議案件について、他に質問がなければこちらの内容で提出をする。

資料のとおり承認（国への申請段階における軽微な修正等については、会長及び事務局に一任）

4 その他

石井委員：乗り方教室の件で、鉄道を活用した内容でも実施できるよう、社内で協議を重ねており、今後、提案させていただく予定。

市内小学校の4年生・5年生を一同に集めて実施できるのがベストだが、駅に来てもらう必要があるので、駅近くの小学校に限定されてしまう可能性があるとは思っている。JRとしても可能な限り協力させていただく。今後、実施に向けて調整等を進めていきたい。

事務局：「チョイソコかもがわの利用実績」について報告。
（事務局から、参考資料2に即して説明）

事務局：次回、第2回会議は10月頃、第3回会議は1月末までの開催予定を考えている。改めて日程調整をし、委員の皆様にご案内するので、よろしくお願いいたします。

5 閉会（午後3時37分）

以上

令和6年6月30日

会議録署名人 石井 孝典